

# 林業福島

No. **608**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.



**4**

2015

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■今年 は 優勝



# 「林業福島」は 充実した誌面づくりに努めます

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫

新たな年度を迎え、皆様には「今年こそは！」と決意を新たにしていること  
と思います。東日本大震災と原発事故から五年目となる平成二十七年は、すべ  
ての県民の未来に明るい光が届けられるよう復興の歩みを確かなものにする年  
度でもあります。

三月十一日に開催された「東日本大震災追悼復興祈念式」で、内堀知事は、  
「どんな困難なことにも力を合わせて挑戦し、あしたのふくしまを切り拓いて  
いきましょう。」と、復興に向けて力強く歩む決意を示されました。私は、知  
事のこの熱い思いをしっかりと受け止め、ふくしまの未来を創るため何事にも常  
に「挑戦」の気持ちで臨みたいと思っております。

さて、「林業福島」は、多くの読者と関係者に支えられ昭和三八年八月に創  
刊されて以来六〇〇号を超えて発刊してまいりました。平成二十七年度は、次  
よりさらに誌面の充実を図ることにいたしました。

まず、平成三〇年本県開催が内定している全国植樹祭の成功に向け、県内各  
地の活動等を広く紹介します。全国植樹祭は、復興に力強く歩む姿と、県内外  
からのご支援への感謝の気持ちを広く発信するシンボルとなるものですので、  
県民が一丸となつて森林づくり活動へ取り組み気運を盛り上げてまいります。

次に、新シリーズとして「自然に親しむ」福島県の巨樹・名木」の紹介を始  
めます。本県には、身近なところに地域の人々から愛され、親しまれてきた巨  
樹・名木がたくさんあります。これを守り、育て次の世代に引き継ぐとともに、  
緑の大切さや自然とのふれあいを通じて豊かな心の育成に努めてまいります。

さらに、林業経営や林業技術、森林土木に関する記事を随時掲載します。  
地域での優れた林業に関する取組や、歴史的な森林土木施設の紹介を通じて森  
林林業の活向上を図ってまいります。

私は、本県森林林業の復興・再生へ強い思いを込め、題字を揮毫させていた  
だきました。これからも「林業福島」は、県内唯一の林業情報専門誌として、  
読者の関心がある話題を幅広く、タイムリーに取り上げるとともに、より分か  
りやすくより親しみやすい誌面づくりに努めてまいりますので、関係各位のな  
お一層のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 《も く じ》

とびら	
「林業福島」は充実した誌面づくりに努めます	
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会	
会長 齋藤卓夫	1
平成27年度県林業予算	2～6
全国植樹祭コーナー	7

「自然に親しむ」	8
普及指導員通信	9
森林管理署メモ	10
林研だより	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば	13

# 平成二七年度県林業予算

## 森林づくりの計画・調整

### ▼森林計画課

森林計画課は、森林計画関係（地域森林計画、市町村森林整備計画、森林経営計画、森林審議会、国有林との調整等）、森林環境税や森林整備加速化・林業再生基金事業及び森林整備加速化・林業再生交付金事業の総合調整、森林整備地域活動支援交付金事業、森林林業関係各課の調整業務を担当しております。

#### ■平成二七年度予算（一般会計）

##### ○県総予算（一般会計）

一、八九九、四二二百万円  
（対前年比一〇〇・八割）

##### ○農林水産部予算（一般会計）

一、一三、一二〇百万円  
（対前年比一〇五・〇割）

##### ○森林林業関係予算（一般会計）

二六、九六九百万円  
（対前年比一三二・〇割）

今年度の農林水産部の当初予算については、福島県農林水産振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」のめざす姿の実現に向けて、重点戦略に掲げる「避難地域における農林水産業再生プロジェクト」を始めとする九つのプロジェクトを重点的・戦略的に推進するとともに、「東日本大震災及び原子力災害からの復興」を始めとする七つの施策の展開方向を柱に編成しています。

#### ■森林環境税を財源とする事業

##### ―森林環境基金事業―

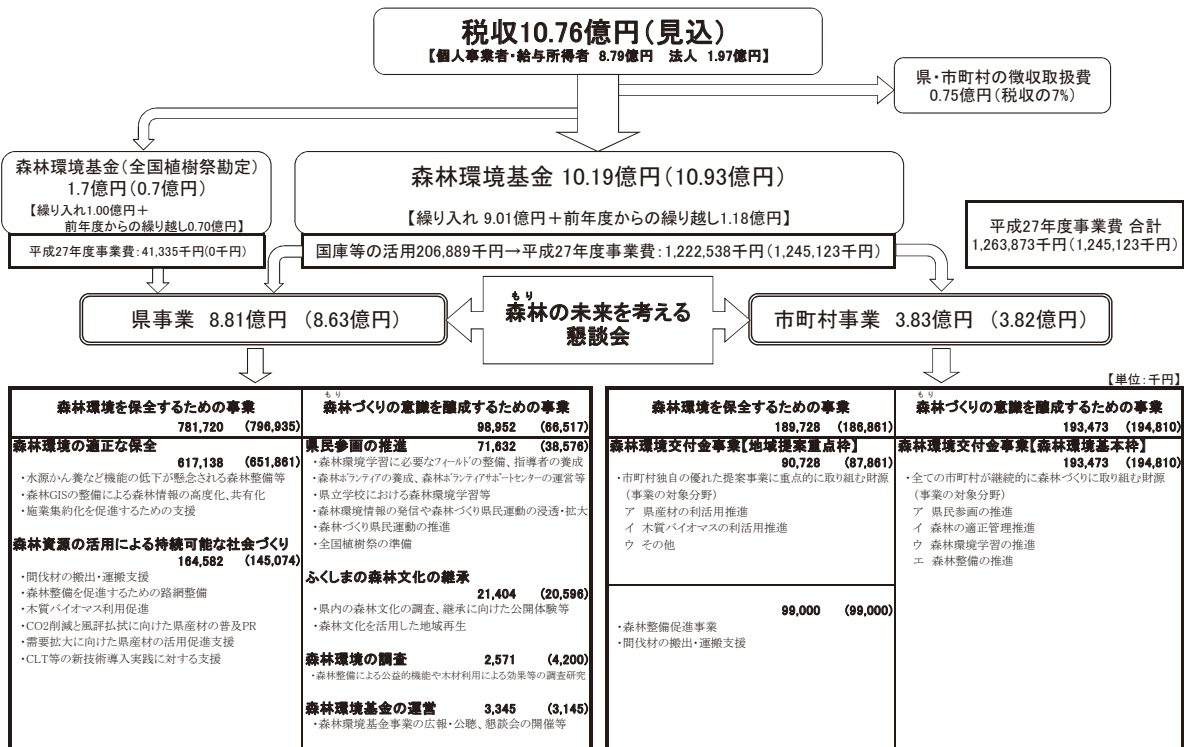
福島県は、豊かな自然環境や良好な生活環境を生み出す森林を将来にわたって維持し、次の世代に引き継いでいくため、平成一八年四月から森林環境税を導入し、森林所有者や林業の枠組みを超えた県民参画による森林づくりの施策を展開しております。

森林環境税は、水源のかん養等の森林の持つ公益的機能を確保することが県民生活にとって重要であることから、森林環境の保全と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策の財源として、県民税均等割に加算する方式で納めていただいております。

納めていただいた税金は、使途が特定されることから、「森林環境基金」を設け、税収から賦課徴収経費を差し引いた額を積み立てて活用しております。また、事業実施にあたっては、第三者機関である「森林の未来を考える懇談会」の意見を伺うとともに県ホームページで事業の実施状況を公表するなど、透明で公正な執行に努めております。

平成二七年度森林環境基金事業の当初予算額は一二億六、三八七万三千元で森林林業総室内四課、文化振興課、

### 平成27年度森林環境基金事業の枠組（当初予算）



水・大気環境課、建築指導課、高校教育課の計八課が担当します。事業の概要は、図のとおりです。このうち、森林計画課が実施する森林環境基金事業は次のとおりです。

① 森林環境適正管理事業

森林GISを活用したインターネット上で森林情報の受発信等

五、三八〇千円

② 森林環境交付金事業

市町村が地域の実情に応じて行うきめ細かな森林づくりを支援

二八四、二〇一十千円

③ ふくしまから はじめよう。森林と のぎずな事業

森林環境に関する情報発信と、森林づくり活動の浸透・拡大等

一八、九〇〇千円

④ ふくしまの森林文化継承事業

福島県の森林文化調査、森林文化の公開体験等

九、三九三千円

⑤ 森林環境基金運営事業

森林の未来を考える懇談会の運営と、森林環境基金事業に対する県民の声を聴く等

三、三四五千円

■ 地域森林計画の編成

地域森林計画は、森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されるよう、森林の保全や森林整備の目標などの基本的な事項等を明らかにするとともに、市町村及び森林所有者等に森林施業上の指針及び規範を示し、その適切な施業の確保を図るため、民有林を対象として五年ごとに十カ年の計画を策定するものです。

本年度は、奥久慈森林計画区において計画を樹立します。

一八、七五七千円

■ 森林整備地域活動支援交付金事業

森林の多面的機能を十分に発揮させるには、間伐等の森林整備を継続的に実施する必要があります。

当事業では、持続的な森林経営の実現や、計画的な森林整備の着実な実行に不可欠な「森林経営計画」の策定を推進するため、森林所有者や森林組合、林業事業者等が実施する次の取組を支援します。

① 「森林経営計画作成促進」への支援

森林経営計画の認定を受けていない森林において、森林所有者や森林組合、林業事業者等が行う森林経営計画の策定のために必要な森林情報の収集・整理や、計画区域の検討、計画参画への森林所有者の同意取得等の活動を支援します。

② 「森林経営計画作成促進（経営委託型）」への支援

①に加え、森林整備に必要な森林の現地調査や路網調査を行い、その結果をもとに森林所有者に森林整備の提案を行う等、森林経営の委託契約を締結するための活動を支援します。

③ 「不在村者の現地立ち会い」への支援

①及び②の活動に際し、不在村森林所有者の現地立ち会いや合意形成活動を支援します。

④ 「境界情報の確定」への支援

③に加え、GPSによる境界確定を支援します。

⑤ 「施業集約化促進」への支援

森林経営計画に基づき実施する間伐等について、集約化するために必要な現地調査や同意取得等の活動を支援します。

⑥ 「施業集約化に向けた条件整備」への支援

施業集約化を進める上で重要となる既設路網の簡易な改良を支援します。

■ 森林整備加速化・林業再生基金事業

（平成二六年度二月補正）

東日本大震災からの復興を図るとともに、森林の多面的機能を確保しつつ、林業の成長産業化を推進するため、路網等の生産基盤や、木材加工流通施設の整備等を支援します。

① 木材加工流通施設等整備事業

間伐材等の加工流通施設の整備について市町村を通じて支援します。

三二、〇五〇千円

② 路網整備事業

森林整備の推進と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業の再生を図るため、森林組合等が実施する森林作業道の整備について支援します。

一六、〇〇〇千円

③ 森林境界明確化事業

森林の境界が不明であることに起因して間伐が進まない森林において、森林組合等が行う境界明確化活動に対して支援します。

八、六〇〇千円

⑤ 木造公共施設等整備事業

公共建築物等木材利用促進法に基づく木材利用方針を策定した市町村が、

素材生産業者、木材産業者、建築業者等と一体となって行う公共建築物の整備を支援します。

⑥ 高性能林業機械等導入事業

素材生産業者等の林業事業者による高性能林業機械等の導入を支援します。

一一、〇〇〇千円

■ 森林整備加速化・林業再生交付金事業

（平成二六年度二月補正）

地域の創意工夫を活かして、木材需要の拡大と安定的・効率的な地域材の生産・供給体制を構築するとともに、持続的な林業経営を確立するため、高性能林業機械等の導入や、間伐材の加工流通施設の整備などを支援します。

① 高性能林業機械等導入事業

素材生産業者等の林業事業者による高性能林業機械等の導入を支援します。

一三〇、八〇〇千円

② 未利用間伐材利用促進対策事業

未利用間伐材等の利用のための間伐など支援します。

九〇、〇〇〇千円

③ 木材加工流通施設等整備事業

間伐材等の加工流通施設の整備について市町村を通じて支援します。

五〇五、九七五千円

④ 森林整備加速化・林業再生付帯事業

地域協議会による、地域材の安定的・効率的な供給や利用拡大に向けた取組を支援します。

一一、八五〇千円

⑤ 新規用途導入促進事業

製材用材の利用価値を高める技術開発など、地域の特性に応じた木質部材や工法の開発・普及等を支援します。

七九、〇〇〇千円

■森林環境モニタリング調査事業

放射性物質の影響を受けた森林では、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の有する多面的機能の低下が懸念されることから、広域的・継続的なモニタリング調査を行い、放射能汚染の現況や経時変化を把握するとともに、森林整備や放射性物質の低減対策を速やかに推進するために必要な調査や情報収集を行います。

①森林環境モニタリング調査事業

森林における汚染状況の変化等を把握するとともに、放射性物質対策を推進するために、県内各地の民有林において、森林内の空間線量率や立木等の放射性物質の濃度を調査し、併せて調

査結果の評価・分析等を行います。

②ふくしま森林再生推進事業

ふくしま森林再生事業に係る全体計画作成や、森林所有者の同意の取り付けを円滑に進めるために必要な情報整備し、市町村に提供します。

■森林除染技術開発事業

平成二三年度から平成二六年度にかけて、表土流出防止工、被覆工及び森林整備を施工した森林において、放射性物質の動態変化を調査・解析し、その影響を低減する新たな技術確立に向けたデータの収集を行います。

森林の整備と林内路網の整備

▼森林整備課

東日本大震災以降、本県の森林整備は停滞しており、森林における土砂流出等の被害の発生が懸念されます。このため、森林の有する多面的機能の高度発揮のための森林整備や路網整備を推進するとともに、放射性物質の低減及び拡散防止を図る放射性物質対策に取り組みます。

また、平成二三年から平成二六年に発生した災害により被災し、現在も復旧していない林道施設の復旧について市町村を支援します。

■森林再生関係

原子力発電所の事故による放射能の影響により、森林整備等が停滞している森林において、森林機能を回復する

ため、林内の放射性物質の状況調査の実施や、間伐等の森林施業と路網整備を一体的に行い、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減及び拡散防止を図るため市町村事業の支援と県事業の推進に取り組みます。

■森林整備関係

民有林を対象に、公共事業、森林環境基金、森林整備加速化・林業再生交付金事業の、三つの仕組みにより、林業事業体等が計画的に行う森林整備を支援します。

①一般造林事業(公共事業)

六五七、五六〇千円

②森林整備事業(森林環境基金)

四〇一、六四三千元

③森林整備促進事業(森林環境基金)

二八一、五三八千円

④未利用間伐材利用促進対策事業(森林整備加速化・林業再生交付金事業)

(平成二六年度二月補正) 九〇、〇〇〇千円

■路網整備関係

森林の多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進や効率的で安定した林業経営の確立、山村地域の定住環境の整備等、森林整備の基盤となる路網の整備を促進します。

①林業専用道整備事業(団体営)

二五、一六五千元

②森林管理道整備事業(県営)

一九九、七六〇千円

③森林管理道整備事業(団体営)

一一一、八七三千元

④森林居住環境整備事業(県営)

四五八、四一九千円

⑤山のみち地域づくり交付金事業

三四一、二五〇千円

⑥林道改良事業

一四、八六八千円

⑦林道舗装事業(県営)

五七、六八〇千円

⑧林道舗装事業(団体営)

一六、四〇九千円

⑨林道点検診断事業

八、七九七千円

⑩県単林道事業

一〇、五〇六千円

⑪路網整備事業(森林整備加速化・

林業再生基金) 一六、〇〇〇千円

⑫森林整備促進路網整備事業(森林環境基金) 二五、八七六千円

⑬間伐材搬出支援事業(森林環境基金) 二六、七二〇千円

■公有林・種苗関係

公有林のうち、県営林については、県産材の復興需要に因應するため、伐採収入を確保しながら、保育間伐を拡大して実施します。また、平成二六年度から「公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社」となった林業公社に対して、事業実施のための資金貸し付け等を行います。

種苗では海岸防災林等の造成に必要なマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ等の種子確保と、花粉の少ないスギ苗の供給体制整備へ集中的に取り組みます。

①県営林の保育管理事業

九三、一〇九千円

②育苗種育苗事業

六、八二八千円

③花粉の少ない森林づくり事業

一、八九七千円

④ふくしま緑の森づくり公社事業

七七五、四六七千円

■林道災害復旧関係

平成二三年、二五年、及び二六年に発生した豪雨等の異常気象により被災した林道について、市町村が行う災害復旧事業を支援します。

①林道災害復旧事業(現年災)

四四五、二六六千円

②林道災害復旧事業(過年災)

六〇二、〇七三千元

## 県産材フル活用の促進

### 林業振興課

林業振興課は、県産材のフル活用を進め、木材の流通量の拡大と森林所有者の利益を確保することにより、経営意欲を向上させるとともに林業就業者及び林業技術者の確保・育成を推進し、持続可能な林業の再生を図ります。また、県内で生産される林産物の安全性を確保するため、「県産材製品の安全性確認」や「安全な木のこの生産」に向けた事業を展開します。

#### ■県産材の安定供給と利用促進

高性能林業機械の導入や木材加工流通施設の整備に対する支援等により、木製品の安定供給を図り、県産材の利用を促進します。

#### ■新たな木材需要の創出

公共建築物等の木造化・木質化を進めるため、CLTを始めとした新たな木造技術の開発を促進するとともに、一層の普及に努めます。

#### ■未利用間伐材等の利用の推進

間伐材や燃料用木材の運搬、木質燃料製造施設の整備支援などにより、未利用資源の有効活用に取り組みます。

#### ■低炭素社会づくりの推進

県産材による木造住宅の建設を促進するため、家づくりマイスター受講修了者と連携したワークショップ等の普及啓発活動を実施します。

#### ■林業就業者等の育成・確保

林業への新規就業の促進や、林業事業体への社会保障拡充支援、林業労働者の能力向上に対する支援など、総合的な担い手対策を展開します。

#### ■林産物の安全性の確保

県内で生産される林産物の安全性を確保し、経営の安定と生産の回復を図るため、木材製品の放射線量の検査、安全な木のこの生産するために必要な生産資材の導入支援、原木林等の除染実証事業、安全な原木を供給するための非破壊型検査機器の導入などを実施します。また、県産製材品の安全性のPRを図るための普及活動を実施します。なお、当該の予算の概要は次のとおりです。

#### ■林業労働安全衛生対策

- ① 林業労働安全衛生指導体制強化事業 一、四一五千円

#### ■森林整備担い手対策基金事業

- ① 新規参入等促進事業 一三五、〇五一千円
- ② 社会保障充実強化事業
- ③ 林業労働者等研修事業
- ④ 林業労働安全衛生確保総合対策事業等

#### ■森林除染等実証事業

- ① きのこ用原木林再生事業 五八、一九五千円
- ② 竹林再生事業
- ③ 野生きのこ等発生環境再生事業
- ④ しいたけ原木除染システムの実用開発事業
- ⑤ 森林における放射性物質の拡散防止等調査事業
- ⑥ コシアブラによる土壌中の放射性物質除去調査事業

#### ■県産材安全性確認調査事業

二〇〇千円

#### ■特用林産の振興

二六八、三四六千円

- ① きのこ類振興対策事業
- ② 安全な木のこの原木等供給支援事業
- ③ きのこ原木非破壊検査機器導入事業

#### ■林業試験研究施設の管理運営

二五、九二七千円

#### ■森林環境基金関係事業

- ① もつともつと木づかい推進事業 七六、一一九千円
- ② 間伐材搬出支援事業
- ③ ふくしまの森林文化継承事業
- ④ 緑の住宅普及支援事業

#### ■森林整備加速化・林業再生基金事業

(平成二六年度補正) 五二、五五〇千円

- ① 木材加工流通施設等整備事業
- ② 木造公共施設等整備事業
- ③ 高性能林業機械等導入事業

#### ■森林整備加速化・林業再生交付金事業

(平成二六年度補正) 七一五、七七五千円

- ① 高性能林業機械等導入事業
- ② 木材加工流通施設等整備事業
- ③ 新規用途導入促進事業

#### ■新たな木材需要の創出

- ① 森林整備加速化・林業再生交付金事業(新規用途導入促進事業)再掲
- ② もつともつと木づかい推進事業(CLT等新技术導入実践事業)

#### ■林業・木材産業金融の充実

八〇〇、六九二千円

## もり 森林づくり活動の推進と安全で快適な県土の保全 ▼ 森林保全課

森林保全課では、県民参加の森林づくり・緑化の推進及び森林病虫害から森林を守る森林保護、安全で快適な県土形成のための治山事業、保安林制度を通じた保安林の適正管理、民有林の森林を開発する際の審査・指導を行う林地開発許可制度に関する業務を担当しています。

#### ■全国植樹祭の開催

全国植樹祭は、国土緑化運動の中心となる行事であり、平成二六年八月に平成三〇年の本県開催が内定しました。平成二六年度には、準備委員会において基本構想を策定するとともに、式典会場候補地を「南相馬市の海岸防災林」としたほか、サテライト会場等の

選定を行ったところです。

今後は、実行委員会を設立し、基本計画を策定するとともに、教育機関との連携を強化し、子どもたちによる苗木づくりに取り組むほか、県内各地で開催される植樹や交流活動などのイベントを充実させ、開催気運の醸成を図り、本県復興のシンボルにふさわしい大会となるよう開催準備に取り組みます。

#### ■全国植樹祭準備事業

三四、七三七千円

#### ■もり 森林づくり活動の推進と森林保護

県民参加による森林づくり活動と緑化運動を支援し、森林とのふれあいの場を提供することにより、森林を県民

全体で支える意識の醸成に取り組みます。  
また、松くい虫やカシノナガキクイムシ等による被害から、貴重な森林を守るための防除対策を支援しています。



●**もり** 森林とのふれあい・緑化活動の推進

① 総合緑化対策事業

一一、三一九千円

② 森林総合利用対策事業

三四、一二六千円

③ **もり** 森林とのふれあい施設管理事業

九七、二二三千円

●**もり** 森林環境基金事業

① 森林環境学習の森整備事業

三、九四八千円

② 森林ボランティア総合対策事業

九、二五九千円

③ 森づくり指導者育成事業

二、三〇〇千円

●**もり** 森林保護

① 森林病害虫等防除事業

五六、四六三千円

・ 松くい虫・カシノナガキクイムシの防除対策  
・ 山火事予防・森林保険加入促進等

◆ 治山事業による県土の保全

治山事業は、民有保安林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から県

民の生命・財産を保全するとともに、水源のかん養、生活環境の保全・形成を図り、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るうえで不可欠な事業です。

平成二七年度の治山事業は、被災地の復旧や予防、森林の機能強化などの事業を効果的に実施し、山地災害に対する減災対策を図るとともにコスト縮減等に積極的に取り組み効率的な予算の執行に努めます。

特に、津波により失われた保安林の機能を確保するため、多重防壁の一環として海岸防災林造成事業による復旧をさらに加速させます。

県単独治山事業については、国庫補助事業に採択されない被災地の復旧及び予防が必要な地区のうち、緊急性や優先度を総合的に勘案し、箇所毎の優先順位を適正に定め順次執行していくこととしています。

全庁的に展開している「地産地消の推進」については、県産間伐材を利用した森林土木工法の推進や平成十四年度から導入している治山ダムの間伐材型榨工等により、平成二七年度の木材使用目標量を四〇〇立方メートル程度と見込んでいます。

また、森林GISを活用し、最新の山地災害危険地情報を県民に提供することなど、ソフト対策の充実を図ることにより、防災意識の高揚や避難態勢の整備が進められ、減災効果の向上に寄与することを期待しています。

■ 一般治山費 (二七年度当初)

一一、九六九、六七一千円

(二六年度補正)

三一、五〇〇千円

① 復旧治山事業

(二七年度当初)

一、〇七三、七四六千円

(二六年度補正)

三一、五〇〇千円

② 地すべり防止事業

四一九、二二〇千円

③ 防災林造成事業

一〇、三四五、一五〇千円

④ 保安林整備事業

一三一、五六五千円

■ 一般治山費 (県単)

四六二、五二五千円

① 予防治山事業

二九四、九四五千円

② 山地災害総合減災対策治山事業

一六七、五八〇千円

■ 災害関連治山費

一五、一七三千円

① 災害関連緊急治山事業

一一、五二二千円

② 林地崩壊対策事業

二、六五二千円

■ 県単治山費

八一、〇二六千円

① 治山施設事業 (県営)

四八、一六九千円

② 治山施設事業 (補助)

三一、三一三千円

③ 県単治山調査事業

一、五四四千円

■ 治山災害復旧費

一、四八六、四二五千円

◆ 安全で快適な暮らしを守る保安林の管理と適正な林地の利用と森林バトロールの実施

現在、県内には国有林と民有林合わせて森林面積の約四一割、約三九万畝が保安林に指定されています。

水源のかん養や山地災害の防備・生活環境の保全形成等、私たちが安全で快適に暮らせるように、特に重要な森林を保安林として指定し保全するとともに、伐採の規制と適切な実施を実施することなどにより適正に管理し、森林の機能の維持増進を図ります。

東日本大震災により被災した海岸部の保安林を復旧するため、保安林整備委託事業において、国の「東日本大震災復興に向けた保安林整備予算(平成二五(二七年)」を活用し、二六年度に引き続き被災した海岸部の保安林指定適地調査や保安林指定に係る森林所有者情報整備調査を行います。

また、森林の保全や適正な利用促進のために森林パトロールを実施します。さらに、森林において土石を採掘したり、林地以外に転用する行為は、無秩序に行われると森林の働きが損なわれ災害が発生するおそれがあることから、林地開発許可制度に基づき審査や指導を行います。なお、重要な事項を審査する場合は、外部意見の聴取のために森林審議会森林保全部会を開催します。

① 森林保全管理事業

七、七三八千円

② 保安林整備委託事業

三三、七六三千円

③ 保安林整備管理事業

一四、九〇〇千円

# 全国植樹祭「リーナー」

森林保全課

平成三〇年に開催が内定している第六九回全国植樹祭について、開催理念、開催の基本的なあり方などを定めた基本構想を平成二七年一月に策定しました。

なお、開催県の正式決定は平成二七年度中の予定です。

## 【第六九回全国植樹祭

### 基本構想の概要】

#### 開催理念

私たち福島県民は、全国植樹祭を本県の森林再生の取組の目標とするとともに、国内外からの復興支援への感謝の気持ちを広く発信するシンボル事業として、県民が一丸となって取り組めます。

一 県民参加の森林づくり活動を推進します。

二 本県の復興・発展を加速する原動力とします。

三 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生を目指します。

四 県内外の多くの方が参加できるようにします。

五 国内外からの支援に対する感謝と復興に向かって強く歩み続ける福島を広く発信します。

五つの開催理念に基づき、私たちは、次世代に豊かな森林を引き継ぐため、全国植樹祭の開催を通じて県民一人一人が参画する森林づくり活動を更に推進します。

#### 開催会場候補地

各会場は、平成二七年度に決定します。

##### 一 式典会場

南相馬市の海岸防災林の「原町（かいはましどほ）地区」としました。

##### 二 サテライト会場

多くの方が植樹活動に参加し、全国植樹祭の開催理念を共有できるように設け、「ふくしま県民の森」としました。

##### 三 PR会場

式典会場やサテライト会場参加者以外の方にも全国植樹祭の開催意義や豊かな森林を未来へ継承する取組を伝えるため、多くの方に

全国植樹祭を楽しんでいただけるよう、駅周辺などの県内外の方が立ち寄りやすい場所に設け、「福島市、郡山市、白河市、会津若松市」としました。

#### 関連事業

全国植樹祭の前日に慣例として開催されている全国林業後継者大会については、同大会が平成二八年度に開催決定された後に、設置される主催団体等と「いわき方部」での開催に向け調整を図っていくこととされました。その他の関連事業について

は、子ども関連の施設など関連事業にふさわしい会場や内容を検討していきます。

#### 開催規模

式典参加者一、〇〇〇人程度（関連行事参加者含め二五、〇〇〇人程度）とします。

#### 開催時期

平成三〇年（二〇一八年）春季とします。（開催日は平成二九年度に決定します。）



天皇陛下 お手植え  
（平成二六年第六五回全国植樹祭 新潟県提供）



「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 1 |

# 三春滝ザクラ

樹木医 鈴木俊行



「三春滝ザクラ」は、田村郡三春町大字滝字桜久保地内に生育している。三春は福島県のほぼ中央に位置し、戦国大名「田村氏」の築城より五〇〇年余、伊達政宗の正室「愛姫」の故郷で、江戸時代には秋田氏五万石の城下町として栄えた。町名の「三春」は、梅、桃、桜が

一斉に咲き競い、三つの春が同時に訪れることから名づけられたと言われる。

滝ザクラの樹種は、エドヒガン系の枝垂れ型の品種ベニシダレである。シダレザクラでは日本を代表する巨樹で、大正十一年十月十二日に国の天然記念物に指定された。日本三大桜の一つと言われ、開花期には全国各地から三〇数万人が訪れる。

樹齢は、推定一〇〇〇年とも言われ、天文年間（一五三二～一五五四年）に植えられたという説があるが、伝承や物語も全くなく確かではない。

本樹の東側の根元に小さな祠があるが、天保七年（一八三六年）に記された「滝佐久良の記」（筆者不明）に、桜の巨木の下にこの祠が立っていることが記されていることから、これよりさらに樹齢は古いと考えられる。また、旧三春藩では、周辺の畑地を米作三斗二升五合に当たる約三畝歩を無税とし、藩主の「御用木」として柵を巡らし保護していたと言われている。

樹形は、自然樹形を保っており、明治期の写真と比較してみても幹や主枝などの骨格は現在と大きな変化は見られない。しかし、過去十五年

間に二度、台風と大雪により損傷があった。平成十四年（二〇〇二年）十月一日には台風二一号により樹冠頂部の太枝一本が折れ、平成十七年（二〇〇五年）一月十五日には湿った大雪のため太枝を含む二〇本以上の枝が折れた。三春町はその都度、文化庁と県の指導により迅速に治療を実施し、保護保全に当たってきた。

現状は、樹高一三・五〇メートル、枝張り東一・〇〇メートル、西一四・〇〇メートル、南一四・五〇メートル、北五・五〇メートルで、東と北側に枝張りの少ない扁平の樹形を呈しているが、主幹が南東に傾斜しているため、伸長が悪いわけではない。幹の太さは八・一〇メートル、根元周一一・三〇メートルと巨木であるが、樹幹の腐朽が目立ち、南側は大きく開口している。しかし、幹空洞内部には直径二〇～三〇センチの不定根七本が複雑にからまりながら幹化して伸長生育し、現在の良好な樹勢を支えているものと考えられる。

滝ザクラは、花の咲く春に訪れる人が多いが、福島県を代表する、いや日本一のシダレザクラの妖艶な姿を四季折々訪ね、巨樹のパワーを体いっぱい受け取り、保護保全にご理解をいただきたい。

## 原木舞茸研究所(川内村)の 生産再開に向けた取り組み

■相双農林事務所 富岡林業指導所  
林業普及指導員 山田 誠

平成25年度から川内村原木舞茸研究所（以下「会」という。）と実施してきた、原木まいたけ（露地）の生産再開に向けた取り組みについてお知らせします。

はじめに、会で生産された平成24～26年度産原木まいたけ（露地）に含まれる放射性物質濃度は、放射性物質対策実施の有無にかかわらず、ND～10Bq/kgであり、数字のうえでは既に安全が確認されています。今回は、放射性物質の供給源を特定することでさらなる安全性の確保と、課題であった販路の確保、活動の活性化について取り組みました。

放射性物質の供給源については、雨水が寒冷紗を通過する際に、寒冷紗に付着した放射性物質を流下させることを予想し、寒冷紗と寒冷紗通過前後の雨水の放射性物質濃度の測定を行いました。その結果、寒冷紗から放射性物質が確認されたものの、寒冷紗通過前後の雨水に差は見られず、また、採取した各月及び採取した全ての雨水を濃縮したものでも放射性物質濃度は低く、雨水による放射性物質の供給は極めて少ないことが分かりました。そのため、あらためてほだ場周辺を点検したところ、生産資材の放射性物質濃度が増加したほだ場では泥はねが多く見られました。過去の測定結果では土壌表面に含まれる放射性物質濃度が高いことが確認されており、会では放射性物質の供給源を泥はねと仮定し、落葉及び表土5cmを除去し泥はね防止のシートを張り、汚染されていない生産資材で栽培を行う対策を考えました。会ではこの方法を『より安全な栽培方法』として、平成27年度からの出荷開始を目指すとともに継続して効果検証を行っていく予定です。

販路の確保については、25年度当初に会と協力して情報収集を行った結果、風評被害が一番の課題であることが分かりました。そのため、会員経営飲食店での使用食材の検査結果の掲示をはじめ、それぞれが正しい情報の発信に努める取り組みを継続しており、26年度後半では状況の好転が感じられました。そのため27年度生産分については、川内村で行われる祭りやイベントへの提供、直売所及び会員経営の県内飲食店への出荷を行い、村内外の認知度向上と風評被害払拭、出荷実績による信頼の構築を目指し、個人販売に繋げていく考えです。

会の活動の活性化については、震災後に会員の内4人でスタートした今回の取り組みでしたが、巡回指導とあわせ説明会を行い、生産者への正しい情報発信を継続したことで、会員間で安全な栽培方法や放射性物質への理解が深まり、現在では活動会員数が10名まで回復し賑わいを取り戻しつつあります。今後は、避難中の会員への情報提供や接触の機会を増やし、参加を促すとともに、1人でも多く帰村へ繋げて行ければと考えています。

このように川内村原木舞茸研究所では、安全で美味しいマイタケを一生懸命生産していきますので、皆様の温かい応援をどうぞよろしくお願い致します。



生産再開のために購入した安全な原木



平成27年度の取り組みについて打合せ中

団体のページ

森林管理署メモ

「南会津の森林を取り巻く状況について」



会津森林管理署南会津支署が管轄する国有林は、日本海へ注ぐ阿賀野川の上流、尾瀬周辺の山々を源とする只見川と伊南川の流域にあり、関東森林管理局の中では最も広い約一万鈔の森林を管理しています。

この地域に有する豊かな自然は、尾瀬国立公園、越後只見国定公園、只見柳津県立公園の指定のほか、国有林の保護林である奥会津森林生態系保護地域、郷土の森「恵の森」、このほか会津山地緑の回廊の設定がされて森林の取り扱いに制限をしています。

かつては木材生産で広葉樹材の供給を支えていましたが、貴重な森林はそのまま未来に残すことの価値が重要として、現在は、カラマツ人工林の整備をしながら年間二、〇〇〇立方メートル程度を市場に供給しているところと

当地は日本有数の豪雪地帯であり、新潟県境からの国道は冬期通行止め、東側から峠（トンネル）を越えると森林の風景が違って見えてきます。只見町では、雪質もやや重くなるせいか雪崩によって「雪食地形」を形成し、山腹では樹木は大きくならず尾根筋にキタゴヨウ等の高木が並んでいるのが見られます。只見町と檜枝岐村では、豪雪地域に特徴づけられる豊かで貴重な自然環境とそれを拠所とした生活・文化を継承することとしてユネスコ（国際連合教育科学文化機関）に生物圏保存地域（BR）を申請し、平成二六年六月十二日「只見ユネスコエコパーク」(Tadami Biosphere Reserve：只見BR)が誕生しました。

只見BR内の国有林は、核心地域、緩衝地域となっていることから既存の法規制はもとより、エコパー



尾瀬大江湿原防鹿柵設置作業風景

クの保護と利用の考え方に配慮して取り扱っていくこととしています。一方、檜枝岐村の尾瀬では、近年ニホンジカが侵入し湿原の植生に深刻な影響を与えており、平成二五年の前回のコーナーで予告をしていた大江湿原を囲う三・五キロメートルに亘る防鹿柵の設置を昨年実施しました。関係機関から意見もいただきましたが耐雪試験や設置場所の調査・刈払い、ヘリによる資材の荷揚げなど数年にかけて準備をし、六月に柵が出来上がりニホンジカの侵入を減らして七月のニッコウキスゲの見頃には食害は少なくなつたと関係者からの声も聞かれ安堵したところです。



尾瀬大江湿原のニッコウキスゲ開花

今後も改良・改善が必要となりませんが、県・村・猟友会等関係機関の協力をいただきながら対策に取り組みますのでよろしくお願ひします。現在、林業再生の課題は木材の安定供給です。支署としても、昨年はシステム販売にチャレンジし木道用資材及び低質材をチップ用材として約一、〇〇〇立方メートルを供給、また、南会津地方木材安定供給連絡会議（県・町村・業界団体で組織）が南会津のサテライト工場を利用して主催する「震災復興支援・南会津産木材市」へ過去三年の倍近い約七〇〇立方メートル（カラマツ）を委託販売として出品し貢献できたのではないかと思います。

東日本大震災から五年目に入りますが、これからも森林・林業の面から支援してまいりますのでよろしくお願ひします。

林研コーナー

# 平成26年度 第18回はつらつ林業 女性交流会に参加して

ふたばグリーンレディーズネットワーク2000  
代表 早矢仕 恵子



平成二七年一月に女性交流会が東京国立オリンピックセンターで開催されました。全国から森林、林業に携わっている女性の集いです。今年で十八回目となり、その重さと厳肅さがひしひしと感じられ、心が引き締まる思いで参加しました。私は、今年度から監査役の立場から、色々とは勉強させていただきました。全国からは色々な活動者が参加し、最年少は二五歳、また三〇代の参加者が



多くとても活気ある大会でした。

活動内容については、やはり女性の立場から、英知の集結ともいえる、女性ならではの意見の交換や、昨今道の駅等の「六次化産業」に取り組んでいるグループもあり、アイデアは枯渇することがなくふつつつと湧出てる感じがしました。

林業界では、後継者の不足がずっとテーマになっております。これは、林業界の永遠のテーマになりつつあるのが現状です。けれども、どんな形でもいいので、森林、林業に携わっていくことが大切なのではないでしょうか。

また、全国の活動状況を聞いてみると、やはり、どうしても福島県は原発事故を思い出さなくてはなりません。今までと同じ活動はできないのが現状です。現在私の組織は活動には至りませんが、おそらく、他の組織の方々は、放射能という目に見えないものとの戦いに、悪戦苦闘し

ているかと思えます。風評被害、木材需要の低迷、その他活動にも影響はあると思えます。

この全国大会は、各県の女性の取り組みが勉強できるのいいところ。林野庁でも、女性が輝くために様々な支援がありますので、我が県でもぜひ、奮って参加していただきたいと思えます。

それでも、今私たちがやらなくてはならないこと、それはあるはずで。福島県の場合は他県とは違う活動方法なのです。地道な調査（放射性物質汚染状況の数字化）、それを基に私たちが県の力を借りてできること、そしてその状況を全国に発信していかなければならないこと。災害はいつどのような形で来るのかわかりません。

我が福島県が背負っている復興は、後世にどのように反映されるのか、またどのように評価されるのか、暗中模索は続きますが、希望をもって取り組んでいることには間違いありません。

また、こういう時にこそ、全国の動きを勉強、観察し、アイデアをもたらし、一つ一つの考え方ではないでしょうか。

現在、活動を継続しているグループにおいては、この状況を全国に発信していくことも大切です。そして放射能についての正しい知識を習得し発信しなければなりません。今回



林野庁で発行した「福島の森林・林業再生に向けて」はとても参考になりました。放射性物質に対する基礎知識から森林の除染の進め方、森林再生に向けて、と色々参考になりました。

「はつらつ」に参加して思うことは、とても素晴らしい会ですので我が県からの参加を多くしていきたいということ。です。

研修会が終わり翌日には、東京おもちゃ美術館を見学しました。木を使ったおもちゃがたくさんあり、昭和の匂いと木の香りに包まれ懐かしく楽しく充実して今年度の研究発表会を終ることができました。

帰宅して数日が過ぎ、遠くは宮崎県他から激励の手紙をいただき、心が温かくなるのを感じました。同じ思いでつながる、私は色々な意味で活動を続けてきて良かった、と言えることに大きく大きく感謝しております。



### 素材の価格〈工場着価格〉(1月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~9)	0	(0~0)	0	10 (9~10)	0	9 (8~10)	0
		10~13		並	スギ	12 (10~14)	△1	8 (8~8)	0	11 (10~13)	0	11 (8~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	13 (12~14)	△1	10 (10~10)	△2	12 (10~14)	0	12 (10~14)	△1
				並	ヒノキ	15 (14~16)	0	(0~0)	0	17 (16~18)	0	16 (14~18)	0
		6.00	並	スギ	18 (16~19)	0	8 (8~8)	△4	16 (14~18)	0	16 (8~19)	0	
			並	ヒノキ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	23 (19~27)	0	24 (19~27)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	14 (13~14)	0	13 (12~13)	0	13 (11~14)	1	13 (11~14)	0	
			並	アカマツ	11 (9~12)	0	(0~0)	0	9 (9~10)	0	10 (9~12)	0	
		1.80	並	スギ	7 (5~9)	0	(0~0)	0	7 (6~8)	0	7 (5~9)	0	
			並	スギ	7 (5~9)	0	(0~0)	0	7 (6~8)	0	7 (5~9)	0	
外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (26~36)	0	31 (26~36)	0	
			並	米マツ	35 (35~35)	2	29 (29~29)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	1	
	28以下	4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	28 (26~29)	1	28 (26~29)	1	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	33 (29~37)	0	33 (29~37)	0	
	70~90	8~14	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	26 (23~29)	0	26 (23~29)	0	
			並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		8 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		11 (10~12)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

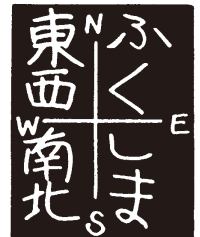
十二月の原木市場への入荷状況は、前月比一六割減(前年比一七割減)の二五、一一四立方メートルとなっている。販売量については、前月比一七割減(前年比一七割減)の二四、八〇八立方メートルとなっている。一月の価格については、保合の状況が続いている。

- 一、漆木、桑、明檜、杉、槻、松、
- 一、檜、胡桃、朴木、桐木、栗、榛栗、
- 一、梅、以上

鶴ヶ城は、一三八四年葦名直盛が東黒川館を築き、城郭としての歴史が始まった。一五九三年七層の天守閣が完成し、黒川を若松に改め町割りができる。また、城の名前も鶴ヶ城と命名された。

一六三九年には天守閣を五層とし、西出丸と北出丸が築かれ、保科正之が一六四三年に入城した。翌年、家中の者たちに用材を給与しようとしたが、「御林の遠近を吟味」したところ、「おおかた上道三里より近き所にては、下さるべき場所これ無し。」という有様であったという。このような山林の荒廃を防ぎ、その保護のために、一六四九年に留木の制定を行っている。

それが、「七木八草四壁竹木御定法事」と言われ、



### 会津の歴史にふれて(鶴ヶ城と藩主)

会津農林事務所 佐藤 宗一

一、要七木「四民設置之可伝子孫」  
 一、牡丹、芍薬、蓮、桔梗、蕨、山椒、独活、砥草、以上  
 一、八草「人家用足の物無用不可拾」  
 一、李、梨、柿、竹、以上  
 一、四壁竹木「裏地屋敷成りとも可長」  
 一、右条々四民為「永代要物被仰出」  
 一、入念堅可「相守者也」  
 一、(二部掲載しましたが興味のある方は図書館へ)

一八六八年戊辰戦争で新政府軍の猛攻に耐えられず開城となった。一八七四年に取壊されたが、市民の要望により一九六五年には鶴ヶ城天守閣再建工事が落成し、二〇一一年に赤瓦となり、現在も各種のイベントが行われ多数の観光客が訪れている。是非、会津の歴史を改めてお楽しみください。

## 表紙の写真



### 「今年は優勝」

第29回ふくしま緑の写真コンクールで入選した荒功雄さん（南相馬市）の作品。

## はなしのひろば

### 春の光に誘われて

春の光に誘われて川べりを歩いてみるのもいい。福島市を流れる荒川は、吾妻連峰付近に位置する鳥子平に源を発し、八支川と合流し阿武隈川に注ぐ流路延長二九・七キロメートルの一級河川だ。荒川は暴れ川といわれ江戸時代から幾度とない土砂流失や氾濫が繰り返され、河道の変更を余儀なくされた。

しかし、長い時間をかけての治水・砂防事業の中心は、いつの時代にもただ川を鎮めるだけでなく、暴れ方の特性をよく理解しながら、自分たちの生活に川を馴染ませ、共に生きることを選択したことだった。その間の行政、地域の人々、各協力企業の荒川への思いと川への行動は、平成の名水一〇〇選、過去七回獲得した清流日本一、土木遺産認定（平成十九年）荒川流域砂防堰堤群十五基が登録有形文化財に登録（平成二〇年）という結果に結びついた。公の認定は心強い。きちんとした形で人々の思いも共に歴史に刻まれ、全国へ発信する力にもなる。

更に、洪水防御策の霞堤や水防林そして定期的なクリーンアップ大作戦は、川や林の生態系を変えた。自然の生き物は正直だ。川が澄み、緑が豊かになると土も変わる。ホタルやカワセミ、カジカやサワガニ等々、昔身近にいたなつかしい生き物たちに、ここではまたお目にかかれる。荒川は、上流、中流、下流とそれぞれに砂防堰堤、床固堰堤の形や生息する動植物も違っている。水と緑のネットワークと土木構築物の融合は、まさに共に生きてきた壮大な荒川ミュージアムだ。

四月中ごろから荒川八景「荒川桜づつみ河川公園」では約二二〇本の桜が、見事な桜ラインとなる。桜を見ながら荒川べりを歩いてみると、川の淡々とした流れに長い歴史の息づかいを感じる。川面には、春の光が生まれては消え、消えては生まれる。もう少しこの川の流れを眺めていたくなる春のいつときだ。

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

発行人

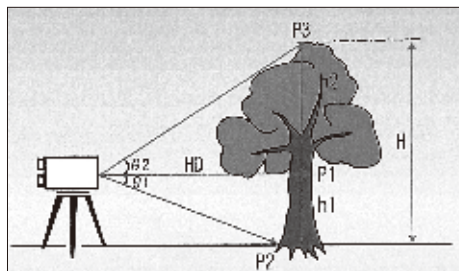
相馬

陽光社印刷株式会社

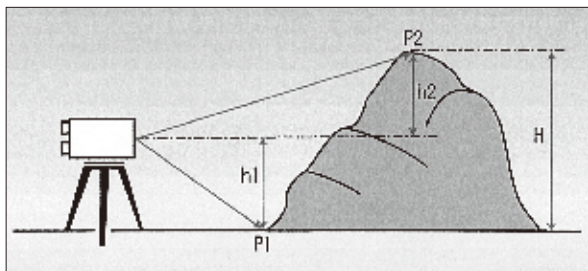
（定価 一〇八円）

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

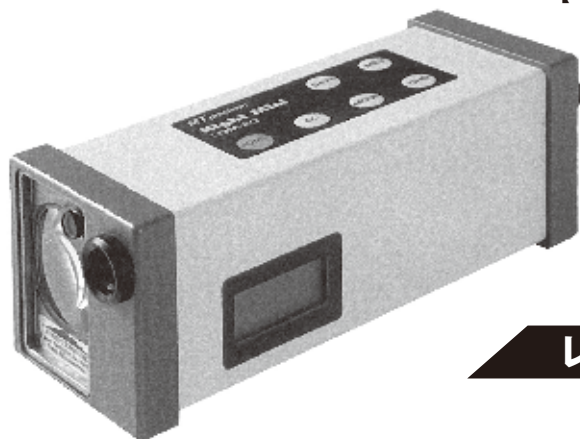


2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定寸法	高さ・水平距離・斜距離
重量	W64・H64・D180
付属品	650g
	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



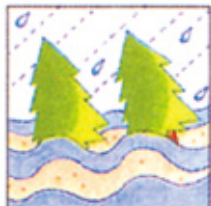
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



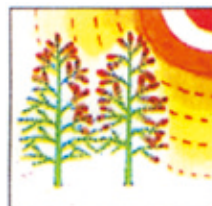
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



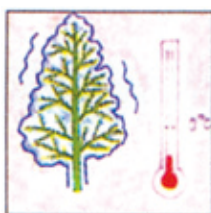
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課 Tel 024-521-7441

平成27年4月から名称が「森林保険」に変わります

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

### シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

### 林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

# 自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

## 野生獣類から大切な 植栽木を守る

ヤシマレント

## 蜂さされ防止

ハチノックL (楽退治)  
ハチノックS (携帯用)

## 大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
バークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

## くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



**住化グリーン株式会社**

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室

TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423  
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

## チップシュレッダ



最大処理径  
180mm

竹もOK!  
**SR3000-2**

出力 22.3kW (質量1,330kg)

水冷ディーゼル  
X379301020  
¥3,375,000(税抜)

## プロソー



**GZ3900EZ**

排気量 39.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)

RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)  
95VPX 967159303  
HS 25AP 967159104  
91VXL 967159204  
HM 21BPX 967159404  
95VPX 967159305



**GZ4300EZ**

排気量 43.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)

45cm(18")  
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)  
95VPX 967159902  
HM 21BPX 967160504  
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1